

PL-FF200

取扱説明書

PL-FF200(フラッシュファイルディスクユニット)は(株)デジタル製パネルコンピュータPL-X900シリーズ(以下PLと称します)用のフラッシュファイルディスクです。

対応機種：PL-X900 シリーズ

下記のほか、本書に記載の商品名は、各社の商標・登録商標です。

Proface：(株)デジタル

MS-DOS：米国Microsoft社



警告 安全に関する使用上の注意

- ・ PLへの取り付け時は感電の危険性がありますので、PLに電源が供給されていないことを必ず確認して取り付けてください。
- ・ PL-FF200は改造しないでください。火災、感電の恐れがあります。
- ・ PL-FF200を取り付ける際には、本書の「3.PL-FF200の着脱」をよく読んで、正しく取り付けてください。

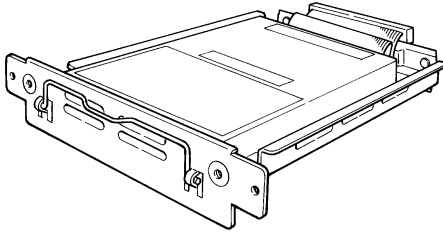
故障しないために

- ・ PL-FF200に水や液状のものや金属が付着しないようにしてください。故障や感電の原因になります。
- ・ 薬品が気化し、発散している空気や薬品が付着する場所での保管および使用は避けてください。
- ・ 電源OFF後の電源再投入は、5秒以上経過した後行ってください。
- ・ 修理や改造を行わないでください。

梱包内容

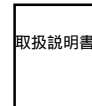
梱包箱には、以下のものが入っています。ご使用前に必ず確認してください。

PL-FF200 本体



取扱説明書 1枚（本書）

PL-FF200 取扱説明書



品質や梱包などには出荷時に際し、万全を期しておりますが、万一破損や部品不足、その他お気づきの点がありましたら、直ちに販売店までご連絡くださいますようお願いいたします。

1

ハードウェア仕様

性能仕様

総記憶容量	20Mバイト
セクタ容量	512バイト/セクタ
消費電力	起動時 0.28W(TYP) R/W時 0.28/0.33W(TYP) 待機時 0.02W(TYP)
インターフェイス	ATA-2(IDE)
フラッシュの書き込み /消去回数	250,000回
MTBF	500,000時間

環境仕様

使用周囲温度	0 ~ 50
保存周囲温度	-10 ~ 60
周囲湿度	30 ~ 85%RH(結露のないこと)
耐ノイズ性 (ノイズシミュレタによる)	ノイズ電圧：1500Vp-p パルス幅：50ns、500ns、1μs
静電耐圧	4kV
耐振動性	動作時 2G(10 ~ 25Hz)



PL 本体の仕様値も併せてご確認ください。

書き込み寿命

通常フラッシュ EPROM チップには書き込みおよび消去回数に制限があります。よって、データの安全性・保全性に関する配慮（データのバックアップ）をする必要があります。書き込み回数の詳細が必要な場合は（株）デジタルサポートダイヤルまで、お問い合わせください。

月～金曜日 9:00AM ~ 5:00PM

東京 TEL(03)5821-1105

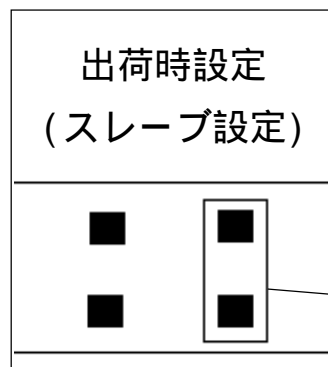
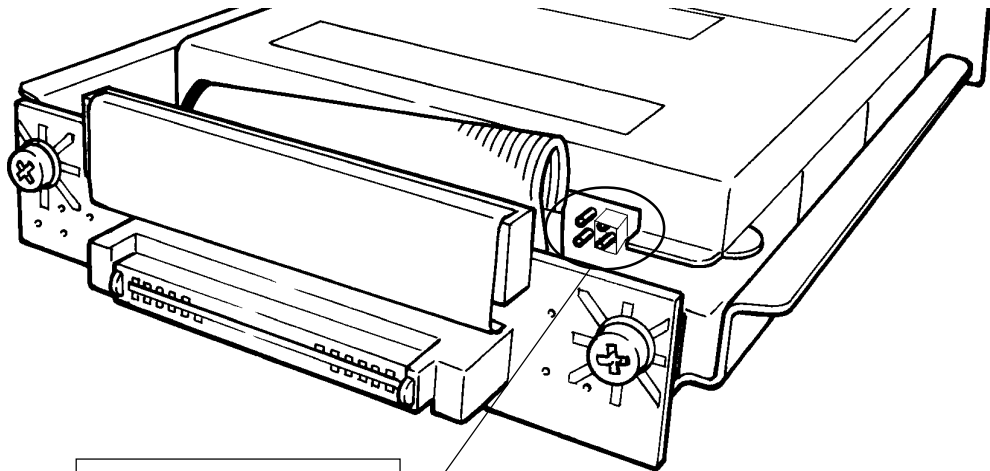
名古屋 TEL(052)932-4093

大阪 TEL(06)613-3115

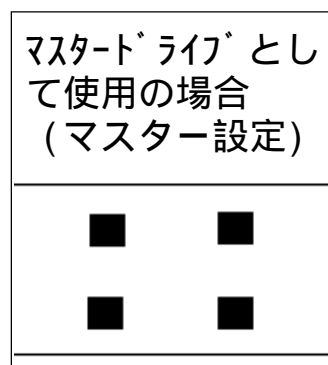
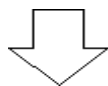
2 フラッシュファイルディスクユニットの設定

PL-FF200は出荷時スレーブの設定となっていますが、PL-FF200をマスタードライブとしてご使用の場合は、PL-FF200を以下のように設定してください。

<PL-FF200 本体のコネクタ正面図>



ジャンパープラグ



PL-FF200をマスタードライブとしてご使用の場合、左図のようにジャンパープラグを外してください。



- PL-X900シリーズ本体には、標準としてハードディスク(出荷時、マスター設定)が内蔵されていますので、併用して、本機(PL-FF200)をご使用になる場合には、本機(PL-FF200)をスレーブ設定としてください。
- 上記以外のショートプラグの設定では使用しないでください。破損の原因となります。

3

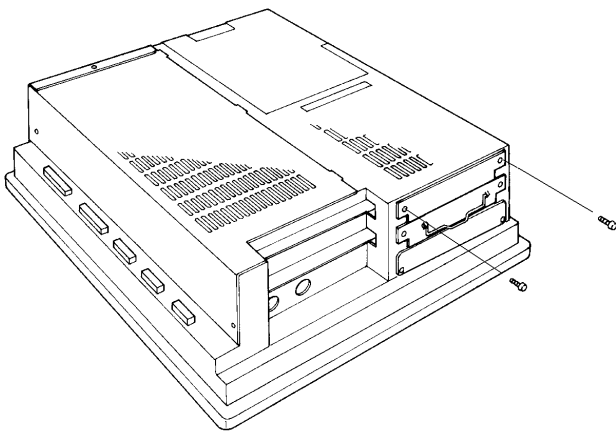
PL-FF200 の着脱

以下の方法で PL-FF200 を PL へ取り付けてください。

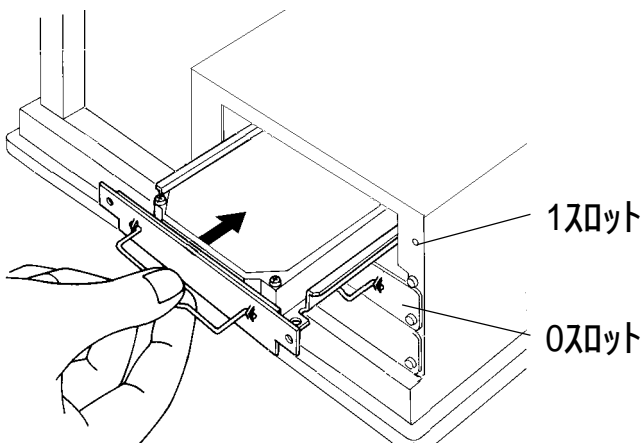
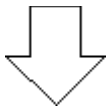


警告

- 感電の恐れがありますので、必ずPLの電源を切ってから作業を行ってください。



HDD1 側スロットのブランク
パネル固定ネジ(2カ所)を外
し、ブランクパネルを取り外
します。



PL-FF200 の取手を持ち、ガ
イドレールに沿うように PL
本体に挿入し、コネクタが完
全に接続されるように挿入し
ます。

ネジ(2カ所)で固定します。



- HDD0 側スロットへの取り
付けも、同様の手順で行
います。

ハードウェアセットアップ

重要 ・通常は、出荷時設定(初期設定)で使用してください。



・以下の全説明画面は、出荷時設定(初期設定)画面です。

本機にキーボードを接続します。

PLの電源をONします。

画面左下 "Press to Enter SETUP" のメッセージが表示されたら、[DEL]キーを押し続けます。

セットアップユーティリティが起動します。メニューより「STANDARD COMS SETUP」画面を選択してください。以下の画面が表示されます。

ROM PCI/ISA BIOS(2A5LEU1C)							
STANDARD CMOS SETUP							
AWARD SOFTWARE, INC.							
Date (mm:dd:yy): Wed, Jul 2 1998							
Time (hh:mm:ss): 14 : 50 : 3							
		CYLS.	HEADS	PRECOMP	LANDZONE	SECTORS	MODE
Drive C:	Auto(0b)	0	0	0	0	0	AUTO
Drive D:	Auto(0b)	0	0	0	0	0	AUTO
Drive A:1.44M,3.5 in.				Base Memory : 640K			
Video : EGA/VGA				Extended Memory:31744K			
VGA_Text Mode:Normal				Other Memory : 384K			
Halt On: All, But Keyboard				Total Memory :32768K			
ESC : Quit		: Select Item		PU/PD/+/-:		Modify	
F1 : Help		(Shift)F2 : Change Color					

キー操作一覧

セットアップで使用するキーの一覧です。

ヘルプ表示エリア

カーソルを合わせた項目の詳細が表示されます。

システム設定エリア

各メニューで設定するシステム項目が表示されます。

Drive C/Drive D 共に [Auto] が選択されているか確認してください。[Auto] が選択されていますと起動時にディスクのパラメータを読み取って自動的に設定されます。
[Auto] が選択されていない場合は、[Auto] を選択してください。出荷時の設定は [Auto] です。通常、出荷時の設定でご使用ください。
(ハードディスクと併用の場合。)

[ESC]キーを押して[SAVE&EXIT SETUP]を選択し、保存終了してください。

5 ソフトウェアセットアップ

ハードウェアセットアップの後、実際にフラッシュファイルディスクにデータや、アプリケーションを記録する為には、使用するオペレーティングシステム (MS-DOS® 等) でパーティション (記録区画) の作成とフォーマット (初期化) が必要です。ご使用になるオペレーティングシステムの取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

株式会社 デジタル

〒 559-0031

大阪市住之江区南港東8-2-52

T E L (06)613-1101 (代)

F A X (06)613-5888

© Copyright 1998 Digital Electronics Corporation. All rights reserved.

051033E .PL-FF200-MM01 1998.10 JM